

ヌグイク沢

1986年7月27日

L

林道の途中に車を止め、5分程歩くとヌグイク沢の出合となる。ヌグイク沢とカマトリコ沢は、地図上では合流しているように描かれているが、実際には、全く別々に本流に注いでいる。

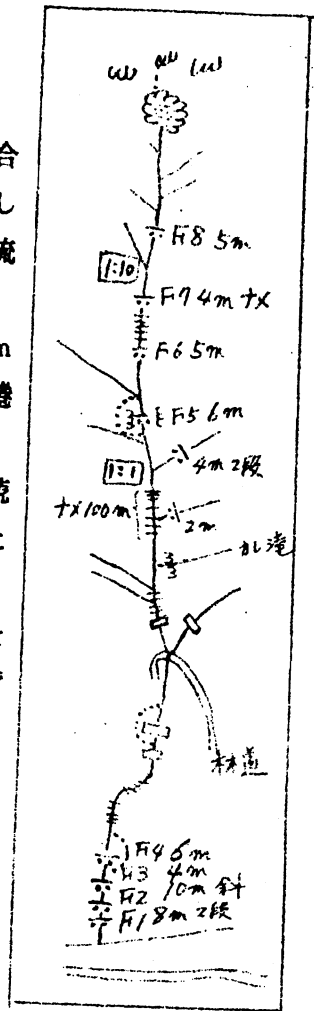
本流へは2段8mの滝となって注いでおり、続いて10mの斜瀑、4m、6mの滝が現われる。6mの滝は左岸を捲く。

この先沢はナメの様相を呈してくるが、まもなく2つ続いて堰堤が現われる。そして左岸の上方にはダム工事用と思われる林道がはっきり見えてくる。

やがて二俣。左右ともに堰堤がある。左俣に入り堰堤を越すと、ナメが現われ、100mくらい続く。F₅6mは直登できず右岸を捲く。そこからも滝とナメが交互に現われる。F₇を過ぎると極端に水が少なくなる。さらに進むと、水が涸れ、ガレ場となる。最後はヤブをこいで稜線に出る。

(記・

[タイム] 出合(7:00)→林道(7:20)→稜線(9:45)



カマトリコ沢

1986年7月27日

L

まず始めに、地図の間違いを指摘しておく。地図では、カマトリコ沢はヌグイク沢と合流したあとで釜沢に合流するようになっているが、実際にはそれぞれ別々に合流している。地図にある合流点は、ヌグイク沢のそれで、カマトリコ沢の合流点はそのすぐ下流となっている。地図では、林道が沢を横切るところのすぐ上、小さなルンゼ状のくぼみになっていねあたりである。

出合は滝が2つ続く。8m 2段滝と10mの滝。下の8m 2段滝は楽に直登できる。上の10m滝はホールドが細かく、ちょっと緊張させられる。コケがついていることもあり、私がさきに登ってザイルを出す。帰路はこの滝が懸垂下降となった。